

「教育研究創発国際卓越大学院 (WINGS-CER)」教育研究創発国際研修について

1. 目的

教育研究創発国際研修（教育研究創発国際研修Ⅰ～Ⅲ）では、教育分野における国際的リーダー人材を養成し学生はその研究成果を海外に発信することを目的とする。（WINGS 申請書より抜粋）

2. 対象科目

教育研究創発国際研修Ⅰ、教育研究創発国際研修Ⅱ、教育研究創発国際研修Ⅲ

3. 単位

教育研究創発国際研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ は各1単位とする。

原則として毎年度一科目1単位を取得し、三年間で三科目3単位を必修とする。ただし、以下の場合を除く。

なお、単位の認定は活動終了後の報告およびその承認を以て行われる。

- ・長期あるいは複数単位に相当する国際研修活動において、一度に複数単位を申請する場合。
- ・初年度に単位取得せず、二年目以降に適切な国際研修活動および単位取得を申請する場合。

4. 履修登録

UTAS 上での PG 生による履修登録は不要。

5. 教育研究創発国際研修における学術研究活動のガイドライン

以下を例として、指導教員と相談・承認の上、自身の研究内容に合わせた国際研修の計画を学生各自が立てる。その際次の①～③の活動が推奨される（ただし、各プロジェクト等における WINGS-CER 生の採択を約束するものではない）。①研究科教員の研究プロジェクトに参加する ②研究科附属センターの研究プロジェクトに参加する ③研究科の国際研修等に参加する。（別表1参照）

1 単位相当	複数単位相当
国内外の国際会議における研究発表（1回）	国外における長期国際インターンシップ（1回）
国内外における短期国際研修（1回）	国外における長期留学・長期研究指導委託（1回）
国外における短期留学・短期研究指導委託（1回）	英語論文公表（1本）
国外におけるフィールドワーク（1回）	
国内の研究会等における外国語による研究発表（複数回）	
国内外の国際会議における運営補助（複数回）	

6. 計画立案・実施

自身の研究内容に合わせて学生各自が国際研修の計画を立てる。計画立案においては以下の書類等を準備し指導教員と良く相談すること。「教育研究創発国際研修における学術活動計画書」に指導教員及びコース主任の承認印を得た上で、当該書類等を WINGS-CER 運営委員会事務担当へ提出すること。

この提出後に計画実施するものとする。

- ① 教育研究創発国際研修における学術活動計画書
- ② 添付書類（当該計画内容の裏付けとなる情報等）

- ・学会・国際研修・調査等の概要及び日程の分かる資料、または受入許可書（入手済みの場合）
- ・公表を予定している英語論文の要旨（該当する場合のみ）

7. 財源

本学の WINGS 事業には研究支援経費が措置されていないため、指導教員と相談し適宜な財源を確保すること。なお、各自が利用可能な資金や海外研修の方法としては以下のものが考えられる。

- ・学術振興会特別研究員研究費（DC1、DC2 に採択されている場合）
- ・SPRING-GX による研究費、海外渡航経費（審査あり）（SPRING-GX に採用されている場合）
- ・本研究科内の国際学術研究支援制度による経済的支援
- ・本研究科内3つのセンター（学校教育高度化・効果検証センター [CASEER]、バリアフリー教育開発研究センター [CBFE]、発達保育実践政策学センター [CEDEP]）主催の院生プロジェクトへの参加

8. 計画実施後の報告書の提出

報告書類は計画実施後1ヶ月以内に、以下に示す所定様式に資料等を添え、WINGS-CER 運営委員会事務担当者へ提出すること。

- ① 教育研究創発国際研修における学術活動報告書
- ② 添付資料（当該報告内容の裏付けとなる情報等）
 - ・学会/国際研修/調査等/ の概要及び日程がわかる資料、または受入許可書
 - ・英語論文の学術誌掲載の場合は、本文およびその要旨と、採択を知らせるレター

9. 審議・承認

提出された報告書について委員会は随時審議を行い、結果を申請者へ通知する。

- ・WINGS-CER 運営委員会で承認された「教育研究創発国際研修における学術活動報告書」は研究科ウェブサイト等で公開する。

10. 単位認定

WINGS-CER 運営委員会は単位認定したものについて認定後速やかに単位付与するものとし、事務担当が成績登録を行う。

11. 注意事項

- ・プログラム生は原則として休学できない。
- ・学術研究活動は当該年度内に実施し完了するものとする。
- ・研究指導委託、国外における教育研究活動に伴う手続きは各自で行う。
- ・国際研修に伴う保険加入およびビザ取得は各自で行う。

12. 窓口及び問合せ先

教育研究創発国際卓越大学院 事務担当（教育学部・教育学研究科 学生支援チーム国際卓越大学院担当）
03-5841-3927 gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

別表1 (教育学研究科および附属センター実施のプログラム)

プログラムの情報については随時更新されるので、HP で各自が随時確認すること。

※以下は 2024 年度の情報で参考掲載です。2025 年度の内容への更新は随時おこなっていく
予定ですので、ご留意願います。

名称	バリアフリー教育開発研究センター 若手研究者育成プロジェクト
URL	https://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/category/public/
公募時期	2024 年 4 月～
担当教員	星加良司 教授
学術活動	○研究発表
	○調査・研究
名称	発達保育実践政策学センター 若手研究者育成プロジェクト
URL	https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/partner/84082/
公募時期	2024 年 4-5 月
担当教員	子育て・保育部門部門 高橋翠 助教
学術活動	○研究発表
	○調査・研究
名称	ユネスコバンコク事務所・アジア太平洋地域教育局インターンシップ
URL	https://www.p.u-tokyo.ac.jp/~edudaiga/kokusai/keiji.htm
公募時期	公募時期 2024 年 4 月(募集人数に達しなかった場合、その後随時募集)
担当教員	北村友人 教授
学術活動	× 研究発表
	○ インターンシップ
名称	学校教育高度化・効果検証センター 若手研究者育成プロジェクト
URL	https://www.schoolexcellence.p.u-tokyo.ac.jp/news/3200/
公募時期	公募時期 2024 年 4 月～5 月
担当教員	教育高度化部門 岩淵和祥 助教

学術活動	○ 研究発表
	○ 調査・研究
	○ 論文投稿
名称	学校教育高度化・効果検証センター 東大附属パネル調査
URL	https://www.schoolexcellence.p.u-tokyo.ac.jp/news/3185/
公募時期	2024 年 4 月～
担当教員	効果検証部門 上野雄己 特任助教
学術活動	○ 研究発表
	○ 調査・研究
	○ 論文投稿
名称	異文化理解教育とグローバルシティズンシップ教育に関するレクチャーシリーズ
URL	https://classroom.google.com/c/NTkwMDM1NDU5NzY3?cjc=6x4gg2e
公募時期	2024 年 6 月～原則として月 1 回、ハイフレックス(対面+オンライン)のレクチャーをスタンフォード大学 SPICE と合同で開催します。大学院生による英語での研究発表の機会も設けます。個別のレクチャーに随時参加可能です。上記 Classroom に登録してもらえば日程等の案内を送ります。「メンバー」欄から登録を行って下さい。
担当教員	福留東土 教授 岩淵和祥 助教
学術活動	○研究発表
	○調査・研究
名称	グローバル・リーダー育成、欧州研修プログラム
URL	https://www.p.u-tokyo.ac.jp/~edudaiga/kokusai/keiji.htm
公募時期	※詳細は、上述 URL 大学院掲示版>国際交流センター・海外留学情報 No.926 を参照のこと。 公募締切 2024 年 6 月 19 日(水)15時
担当教員	北村友人 教授
学術活動	○ 研究発表(協定校共催シンポジウム)
	× 調査
名称	Introduction to International & Cross-Cultural Education (大学院授業科目として開講)
URL	https://classroom.google.com/c/NjUzMDg2NzA3Mzcx?cjc=hcjlnj4

公募時期	開講時期は 2025 年 1 月下旬 (A2 タームの集中講義期間)。一週間程度、米国スタンフォード大学への現地渡航を行い、講義を受講します。公募時期は A2 タームの履修登録期間に準じます。上記 Classroom に登録してもらえば 9 月以降、必要な案内を送ります。ただし、履修登録は Classroom への登録とは別途 UTAS で行って下さい。
担当教員	福留東土 教授 岩淵和祥 助教
学術活動	○調査・研究
	○研究発表